

- 避難開始前の段階において、避難計画で避難経路として定められている道路等が自然災害等により使用できない場合、宮城県、おながわちょう女川町及びいしのまきし石巻市は、代替経路を設定するとともに、道路等の管理者は復旧作業を実施。
- 直轄国道については、国土交通省東北地方整備局が早急に被害状況を把握し、迅速かつ的確な道路啓開、仮設等の応急復旧を行い、早期の道路交通の確保等に努める。



<宮城県の管理道路>  
宮城県災害対策本部が応急復旧作業を実施。

<直轄国道>  
国土交通省東北地方整備局が  
応急復旧作業を実施。

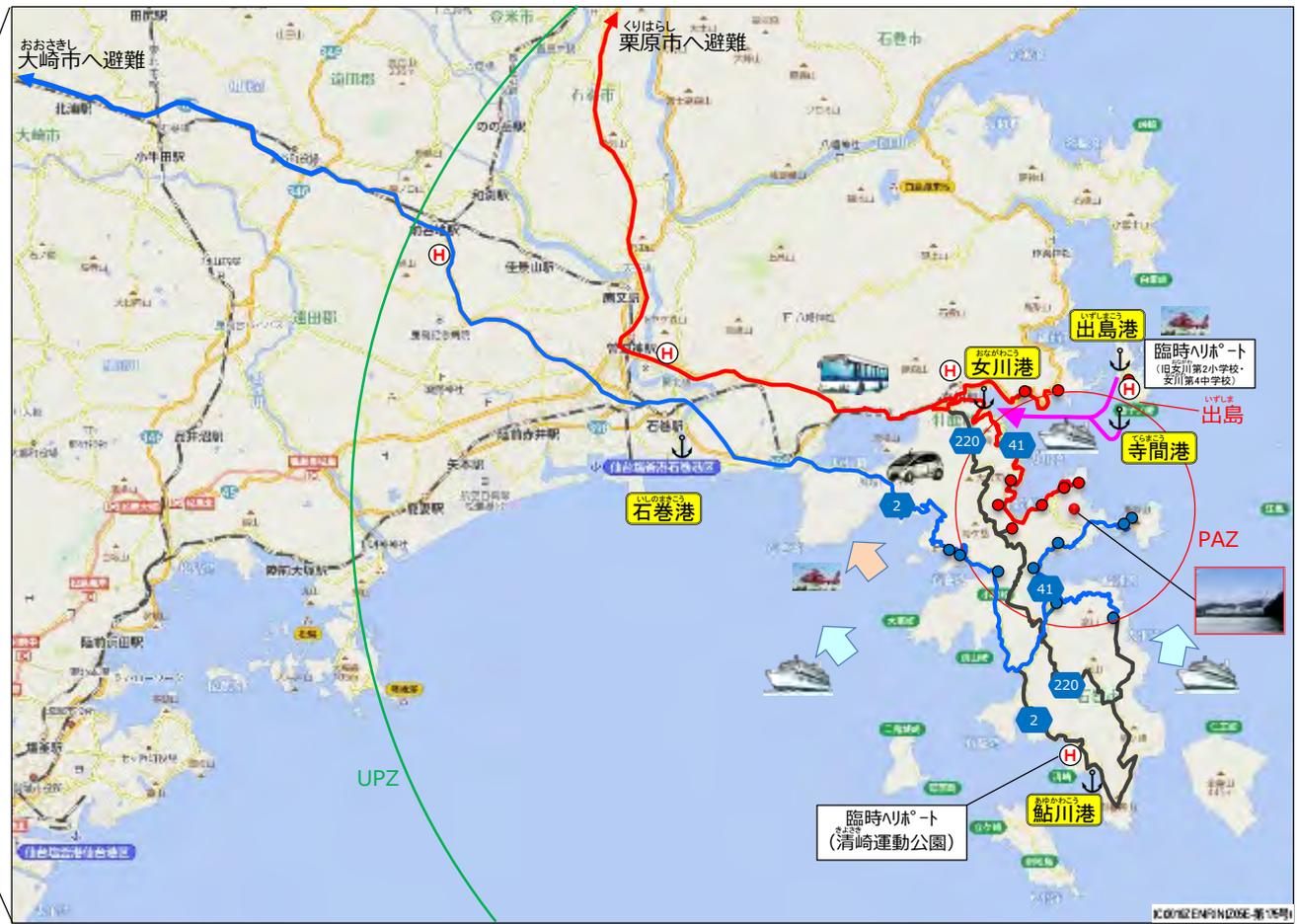
- 災害発生時には、各管理道路のパトロールを実施し、被害の状況等を把握。
- 道路の被害状況を踏まえ、国、県がそれぞれ建設業協会等と締結している協定等をもとに、応急復旧を実施。

# PAZ内における状況に応じた対応

- 自然災害等により予定していた経路による避難が実施できない場合は、迂回する陸路による避難や海路等といった避難を実施。なお、東北電力においても、ヘリコプターを確保し空路避難を支援。
- いずれの避難もできない場合には、屋内退避を実施し、避難態勢が整い次第避難を実施。

おながわちよう  
女川町避難所受付ステーション  
くりはらし わかやなぎ  
栗原市若柳総合体育館

いしのまきし  
石巻市避難所受付ステーション  
おおさき  
宮城県大崎合同庁舎



- 【凡例】
- ：おながわちよう  
女川町一時集合同所
  - ：いしのまきし  
石巻市一時集合同所
  - ⚓：港
  - Ⓜ：臨時ヘリポート

# 台風時などにおけるPAZ内の防護措置

- ▶ 台風等により気象庁から暴風警報等が発表され、外出をすることで命に危険が及ぶような場合には、PAZ内の施設敷地緊急事態要避難者及び住民は、無理に避難せずに、安全が確保されるまでは、屋内退避を優先。
- ▶ その後、例えば天候が回復するなど、安全が確保できた場合には、避難を実施。また、避難の実施により健康リスクが高まる者は、近傍の放射線防護対策施設で屋内退避を実施。
- ▶ なお、全面緊急事態となった段階で天候が回復するなどし、避難を実施する際には、国及び宮城県等は、避難経路や避難手段のほか、原子力発電所の状況や緊急時モニタリングの結果、気象情報等の情報共有や緊急時の対策についての確認・調整等を行う。

## <全面緊急事態で天候が回復した場合の対応の例> (外出をすることで命に危険が及ぶような場合)

